

岩手町・石神の丘美術館

県内初「恋人の聖地」に

静岡のNPO新
法人選定 新たな魅力発信



石彫作品前で「恋人の聖地」の銘板を手にする斎藤桃子学芸員

岩手町五日市の石神の丘美術館（館長・民部田幾夫町長）は、静岡市の特定非営利活動法人（NPO法人）から「恋人の聖地」に選定された。選定は地域活性化や少子化対策の観点で、若者に魅力ある観光地づくりを目指すしており、県内からは初めて。同美術館は、屋外に散策路を兼ねた自然豊かな展示場がある特徴を生かし、新たな魅力の発信を探る。

デートコース
結婚式活用も

恋人の聖地の銘板は一月に応募した。

四月三十日、町役場に届いた。町が昨年度、首都圏などに住む町ゆかりの十人に委嘱した町ふるさと大使の一人からの勧めで、今年二

た。デートコースや結婚式会場としての活用など議論に幅を持たせ、選定の利点を生かしていく。

恋人の聖地は、NPO法人地域活性化支援センターが二〇〇六年から選定を始め、同美術館を含め全国六十一カ所になった。東北地方では福島県の二カ所を含む三カ所目。中村徹・日本観光協会会長、ファッションデザイナーの桂田美さん、女優の菊川怜さんら五人が選定委員を務めている。

これまでに選ばれているのは兵庫・神戸ハーバーランド、東京・六本木ヒルズ展望台など。カップル向けの観光地として売り込んだ

り、恋愛にちなんだ発泡酒を開発した先進地もある。各聖地間の連携も期待されている。町企画商工課の佐々木光司産業創造推進室長は「より身近な美術館として発展に結びつけられれば」、同美術館の斎藤桃子学芸員は「若い人に美術館に関心を持ってもらえる好機」と、選定を生かすアイデアを練る。